

#### 第39回 スタチン系のくすり

スタチン系のくすりは、血中のコレステロールを下げるくすりに分類されます。この系統に属するくすりの一般名が、アトルバスタチンやシンバスタチンなど、語尾に「スタチン」と付くことからスタチン系と呼ばれています。

これらのくすりの効果は、コレステロールを合成する途中の重要な酵素であるHMGCo-A還元酵素を阻害するため、血液中のコレステロールが低下します。

コレステロールは悪玉とか呼ばれるものもあり、コレステロール値が高いと、動脈硬化や心筋梗塞、胆石の原因になるなど、悪い部分に取り上げられることが多いのですが、体の中では非常に重要な成分の一つでもあります。コレステロールの重要な働きにステロイドホルモンの原料となることが挙げられます。ステロイドホルモンとは男性ホルモンや女性ホルモン、副腎から分泌される糖質コルチコイド（いわゆる、医薬品でステロイドと呼ばれるもの）や鉱質コルチコイドのことを指します。さらに、コレステロールは細胞膜の必須成分でもあります。そのためか、コレステロールが異常に低いと、寿命が短くなるというような研究もあります。

さて、スタチン系のくすりには、まれですが「横紋筋融解症」という、重大な副作用が起こることがあります。おどろおどろしいネーミングの副作用ですが、字の通り横紋筋という筋肉が溶けていく副作用です。溶けていくといわれると、硫酸でもかけられたかのようにどろどろと溶けていくところを想像しがちですが、この副作用は体の中で筋肉が溶けていくので、目に見えることはありません。筋肉が溶けた成分は血液から腎臓を通過して尿中に出ていくため、腎臓に強い負担がかかってしまいます。重くなると腎臓の機能が失われてしまうこともある怖い副作用です。しかし、初期症状に気づいて対処をすればそれほどひどくならず済むことが多いです。その初期症状は、筋肉が溶けるため、運動などしていないのに筋肉痛があらわれひどくなっていきます。また、筋肉の成分が尿として出てくるため、赤や褐色の尿が出ます。横紋筋融解症の副作用は、スタチン系だけでなく、抗生物質や漢方などでも起こることがあるため、上記のような症状が出たら要注意です。

それでは、当院採用されている、スタチン系についてみていきましょう。

Crest : 波頭、頂上、最上を意味する Crest より命名

プラバスタン : 一般名プラバスタチンナトリウムに由来

リピトール : 脂質 Lipid から命名

リポブロック : Lipo (脂質の) +Block (遮断)

次回は、輸液についてです。